令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　163

事務事業名称		環境保全啓発補助事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境政策課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2003(H15)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市環境基本条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	環境保全啓発事業補助金　補助金性質：　事業費補助						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。						
	対象者(受益者)	環境意識が未醸成な市民(その効果は全市民に及ぶ)						
	現状・課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる。(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題)						
	事業の概要	枚方市環境基本計画の推進のため、市民・市民団体・事業者・行政がパートナーシップを形成し、環境の保全と創造についての取組を積極的に推進するための場となる組織(中間支援組織)として設立されたNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議が実施する事業への支援を通して、市民や事業者等の環境保全活動を促進することにより、良好な環境の保全と地球温暖化対策を推進する。						
	年間の主な事務	・NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議との連絡調整 ・イベントなどの市公式SNSでの情報発信						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.42人	0.28人	—	—
再任用	0.10人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	3,762	2,299	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	3,762	2,299	—	—		
歳出 物件費計	1,653	1,653	—	—	1,653	100.0%
歳出計	5,415	3,952	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	1,653	1,653	—	—	1,653	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	市とNPO法人ひらかた環境ネットワーク会議との連携により、「COOLCHOICE みんなでエコ宣言」への参加を呼びかける。	事業	19 事業	19 事業	— 事業	— 事業
②	NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議による、他団体の支援のための相談受付業務について支援を行う。	件	12 件	12 件	— 件	— 件
③	NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議への補助金額(環境保全啓発事業補助金)	千円	1,368 千円	1,368 千円	— 千円	— 千円

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議への補助金対象事業である「ひらかたみんなでエコ宣言」を行い、環境保全活動に取り組む。

指標: 「ひらかたみんなでエコ宣言」シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	800	800	800	人
実績	562	607	—	—	人

算出方法: 「ひらかたみんなでエコ宣言」シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数

ロジックモデル

アウトプット②

説明: NPO法人ひらかた環境ネットワーク会議への補助金対象事業である「環境団体活動支援事業」を実施し、活動の輪を広げる。

指標: ひらかた環境ネットワーク会議が環境関連他団体を支援した件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	20	20	20	件
実績	12	12	—	—	件

算出方法: ひらかた環境ネットワーク会議が環境関連他団体を支援した件数

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。

指標: 「ひらかたみんなでエコ宣言」シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	1,600	2,400	3,200	人
実績	562	607	—	—	人

算出方法: 「ひらかたみんなでエコ宣言」シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)

アウトカム②

説明: 市民一人ひとりが、高い環境意識を持ち、すべての主体が連携・協力しながら、自主的・積極的に環境保全活動を推進する。

指標: 「ひらかたみんなでエコ宣言」シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	1,600	2,400	3,200	人
実績	562	607	—	—	人

算出方法: 「ひらかたみんなでエコ宣言」シートにより環境に配慮した行動に取り組むと宣言した人数(累計)

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

市民、事業者等の環境保全意識の高揚。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	「ひらかたみんなでエコ宣言」の参加者数については、目標を達成することができなかったものの、参加を促す啓発イベント開催など具体的な活動については、概ね実施を達成することができた。
R7年度	「ひらかたみんなでエコ宣言」の参加者数については、前年度からは若干増となったが目標を達成することができなかったものの、参加を促す啓発イベント開催など具体的な活動については、概ね実施を達成することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	R8年度は「ひらかたみんなでエコ宣言」の参加者数の増加を図るため、これまでの活動以外にも参加を促す機会を設ける。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考	方向性の経過				
	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　171

事務事業名称		葬祭関連事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境政策課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	7.公衆衛生や健康危機管理が充実したまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2008(H20)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市立火葬場条例 枚方市立火葬場条例施行規則 枚方市規格葬儀に関する要綱						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム) ・目指すべき状態 ・課題が解決した状態	・火葬場を適正に運営し、全ての利用者が常時、快適に利用できている。また、近隣の環境に配慮ができている。 ・簡素・低廉かつ厳粛な葬儀が葬儀業者間で統一して提供できていて、市民がそれを利用できている。						
	対象者(受益者)	枚方市営の火葬場で火葬を希望する人/火葬場の近隣住民/低廉で厳粛な葬儀を執り行いたい市民						
	現状・課題	できるだけ安価で利用できる衛生的かつ厳粛、心が安らぐ火葬を希望している。/近隣の環境へ悪影響を及ぼす可能性がある。/一般的で低廉で厳粛な葬儀を希望しているが、葬祭業者には画一的なその様なメニューがない。						
	事業の概要	・指定管理者と連携し、適切に火葬場の運営を行う。 ・死亡された市民等を火葬する施設として、火葬中の設備機器トラブルの発生や地域環境を害する運転等を起こさないために、定期補修工事等を実施し、適切な施設の維持・管理を行う。 ・毎年度、排ガス測定を実施し、排出に関する目標値を達成しているか確認を行う。 ・枚方市が葬儀の仕様や金額を定め、市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を募集し、「枚方市規格葬儀取扱店」を増やすことで、市の規格どおりの葬儀を希望する市民が利用しやすい環境を整える。						
	年間の主な事務	・指定管理者と連携し、火葬場の運営を行う。 ・定期補修工事の実施 ・排ガス測定の実施 ・枚方市規格葬儀に関する協定の更新 ・枚方市規格葬儀取扱店の募集 ・規格葬儀利用者アンケートの実施						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.00人	0.51人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,688	4,187	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		7,688	4,187	—	—		
	物件費計		236,955	222,506	—	—	240,008	92.7%
歳出計			244,643	226,693	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		243,525	240,172	—	—	246,770	
	市債		0	2,400	—	—	2,400	
	その他		260	239	—	—	228	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			243,785	242,811	—	—	249,398	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 枚方市立やすらぎの杜が計画的に維持管理されている。(決算額/当初予算額×100)	%	89 %	93 %	— %	— %
② 排ガス測定の実施回数	回	1 回	1 回	— 回	— 回
③ 市域全域で規格葬儀を受けられるよう取扱店を増やす。(規格葬儀取扱店数)	社	15 社	15 社	— 社	— 社

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル アウトプット①

説明	枚方市立やすらぎの杜を予定通り稼働する。
指標	やすらぎの杜稼働率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	100	—	—	%
算出方法	年間稼働日数/年間稼働予定日×100				

ロジックモデル アウトプット②

説明	必要な市民が規格葬儀を利用する。
指標	規格葬儀実施件数(標準葬＋略式葬)

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	140	145	150	155	件
実績	141	151	—	—	件
算出方法	標準葬の実施件数＋略式葬の実施件数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	施設利用者満足度
指標	利用者アンケートで満足またはどちらかといえば満足と回答した割合 ※やすらぎの杜の利用者

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	80	85	85	%
実績	78	72	—	—	%
算出方法	アンケートにより満足またはどちらかといえば満足と回答した人／アンケート回答数×100				

アウトカム②

説明	簡素・低廉かつ厳粛な葬儀を市民が利用できている。
指標	利用者アンケートで満足またはどちらかといえば満足と回答した割合 ※規格葬儀(標準葬＋略式葬)の利用者

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	90	90	90	90	%
実績	100	100	—	—	%
算出方法	アンケートにより満足またはどちらかといえば満足と回答した人／アンケート回答数×100				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

できるだけ安価で利用できる衛生的かつ厳粛、心が安らぐ火葬環境を整え、火葬場の近隣の環境に配慮ができている状態。
市の規格に沿って葬儀を行う葬儀業者を募集し、「枚方市規格葬儀取扱店」を増やすことで、市の規格どおりの葬儀を希望する市民が利用しやすい環境を整える。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
R7年度	指標の達成度については概ね想定どおりであった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	市営葬儀に代わる簡素、低廉かつ厳粛な葬儀メニューが求められていることから、今後も取り組みを継続する。 火葬場を適正に運営できるよう、計画的な設備等の更新を行う。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　584

事務事業名称		鳥獣捕獲許可関連事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境政策課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	23.豊かな自然環境を大切にするまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1998(H10)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律、特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	野生鳥獣の捕獲等により、野生鳥獣(特定外来生物や有害鳥獣など)による被害がなくなる。						
	対象者(受益者)	野生鳥獣(有害鳥獣や特定外来生物など)により住居侵入や農作物食害・糞害などの被害を受けている市民及び事業者						
	現状・課題	野生鳥獣の住居侵入や農作物食害、糞害などを被っているが、野生鳥獣保護の観点から自由に捕獲等ができない。/						
	事業の概要	・野生鳥獣等の相談に関する事務 ・有害鳥獣捕獲等の許可及び捕獲器の貸出業務 ・特定外来生物であるアライグマについて、捕獲器の貸出及び捕獲個体の運搬について、業者に委託して実施。 ・鳥獣飼養登録等事務						
	年間の主な事務	・野生鳥獣等の相談に関する事務 ・有害鳥獣捕獲等の許可及び捕獲器の貸出業務 ・特定外来生物であるアライグマについて、捕獲器の貸出及び捕獲個体の運搬について、業者への委託事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.71人	0.95人	—	—
再任用	0.06人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	5,778	7,799	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	5,778	7,799	—	—		
歳出 物件費計	5,407	2,938	—	—	4,985	58.9%
歳出計	11,185	10,737	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	349	451	—	—	365	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	349	451	—	—	365	
一般財源(物件費充当分のみ)	5,058	2,487	—	—	4,620	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 野生鳥獣等の被害を受けている市民及び事業者から捕獲許可申請等を受け付ける。	件	141 件	151 件	— 件	— 件
② アライグマの被害の相談があった市民等に対し、捕獲器を貸し出す。	件	256 件	215 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—

算出方法: —

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	捕獲許可申請件数、捕獲器の貸出件数ともに昨年度より増加している。 特定外来生物や有害鳥獣による被害をなくしていくために、被害防除対策の推進に取り組んでいく必要がある。
R7年度	アライグマの捕獲器の貸出件数が若干減少しているが、継続して利用される方が増加し、捕獲数は前年とほぼ同数である。 特定外来生物や有害鳥獣による被害をなくしていくために、被害防除対策の推進に取り組んでいく必要がある。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	特定外来生物アライグマと有害鳥獣(イタチ)の捕獲器の貸出希望が増加しているので、R8年度は捕獲器の増設を検討し、農業被害や生活環境被害のある市民に迅速に貸し出す。 特定外来生物アライグマの捕獲後措置については、R8年度も委託事業者により迅速かつ適正に処理する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　587

事務事業名称		自然保護啓発事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境政策課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	23.豊かな自然環境を大切にするまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1998(H10)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	自然環境保全法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	自然とふれあう、また、自然環境について考える機会を通して、自然環境保全の意識が醸成されている状態。						
	対象者(受益者)	普段自然とふれあう機会があまりない市民						
	現状・課題	自然とふれあう機会が少ない						
	事業の概要	・本市の自然環境を身近に感じてもらうため、天野川や穂谷里山などで、魚や昆虫、植物などの自然観察会等を開催。 ・自然環境を考える講演会を開催。						
	年間の主な事務	・自然観察会、講演会の企画 ・講師等関係団体との連絡調整 ・市公式SNSでの情報発信						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.76人	0.71人	—	—
再任用	0.02人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	5,949	5,828	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		5,949	5,828	—	—		
	物件費計		259	819	—	—	1,142	71.7%
歳出計			6,208	6,647	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	608	—	—	700	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	608	—	—	700	
一般財源(物件費充当分のみ)			259	211	—	—	442	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 自然保護に関する各種啓発イベント等を開催し、自然環境について考える機会となる(自然観察会等開催回数)	回	6 回	6 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	各種イベントに参加した市民が、自然とふれあう、自然環境について考える機会となる。
指標	自然観察会等参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	250	250	250	人
実績	218	170	—	—	人
算出方法	自然観察会等参加者数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	市民一人ひとりの自然環境の意識が醸成されている。
指標	観察会等参加者のうち、自然を大切にしようと思った人の割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	100	100	100	%
実績	95	97	—	—	%
算出方法	アンケートにより「自然を大切にしようと思う」と回答した人／アンケート回答数×100				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

市民の自然環境保全意識の高揚。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	令和6年度は、前年度までの実施協力団体の変更などにより、自然観察会の内容や開催場所を一部変更した。新たな試みであったが、例年通りの参加者数を確保することができた。
R7年度	令和7年度は、夏季の猛暑による参加者減や、一部観察会の内容と実施場所、実施協力団体の変更などがあり参加者数が伸び悩んでしまい目標数には達することができなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	参加者数の増加を目指し、さらに魅力ある観察会の開催を企画検討する。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　665

事務事業名称		環境教育推進事業						
担当部署（R8年度機構）		部：　環境部		課：　環境政策課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1995(H7)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律、枚方市環境教育・環境学習推進指針						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	環境について学ぶ機会が常時、確保され、市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルへの転換が図られている。						
	対象者（受益者）	主に市内の保育所・園、幼稚園、小学校に在籍する園児・児童（対象は全市民）/環境教育を受けた園児・児童の家族や関係者						
	現状・課題	環境問題について学ぶ機会が少ない。また、環境について学ぶきっかけがない。						
	事業の概要	・「幼児のための体験型環境学習プログラム」として、市民や市職員が講師となり、市内の保育所・園、幼稚園で環境出前学習を実施。 ・小学校高学年を対象とした環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の発行。 ・子どもたちが夏休みに家庭で排出されるCO2排出量を体感し、地球温暖化をはじめとする環境問題への関心を持ってもらうきっかけとして「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、応募のあった小学校に配布。						
	年間の主な事務	・市内の保育所・園、幼稚園での環境出前学習の企画・実施事務 ・環境副読本「わたしたちのくらしと環境」の作成、発行事務 ・「ひらかたエコライフつうしんぼ」の作成、発行事務						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.67人	0.87人	—	—
	再任用	0.01人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	5,204	7,142	—	—		
	会計年度任用職員	0	0	—	—		
	特別職非常勤	0	0	—	—		
	附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計	5,204	7,142	—	—		
	物件費計	453	576	—	—	1,035	55.7%
歳出計		5,657	7,718	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
	府支出金	0	0	—	—	0	
	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
	市債	0	0	—	—	0	
	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		453	576	—	—	1,035	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	市内の保育所・園、幼稚園に対して環境出前学習の実施・参加を呼びかける(環境出前学習実施回数)	回	49 回	50 回	― 回	― 回
②	「ひらかたエコライフつうしんぼ」を作成し、参加を呼びかける(申込人数)	人	968 人	793 人	― 人	― 人

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: 出前学習に参加し、保育園児やその保護者の方が環境について触れる機会が増える。

指標: 環境出前学習参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	4,800	4,800	4,800	人
実績	4,377	4,538	―	―	人

算出方法: 環境出前学習参加者数

ロジックモデル

アウトプット②

説明: 「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」に取り組む。

指標: エコライフつうしんぼ提出人数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	―	1,200	1,200	1,200	人
実績	968	793	―	―	人

算出方法: エコライフつうしんぼ提出人数

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを意識し、行動する。

指標: 出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	100	―	―	%

算出方法: アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数／アンケート回答数×100

アウトカム②

説明: 市民一人ひとりが、環境に配慮したライフスタイルを意識し、行動する。

指標: 出前学習などに参加したことにより、環境保全に関心を持ち、環境保全活動を実施しようと思った割合

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	100	100	100	100	%
実績	100	100	―	―	%

算出方法: アンケートにより「子どもたちが環境保全に関心を持つきっかけとなったと思う」と回答した園の数／アンケート回答数×100

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

市民の環境保全意識を配慮したライフスタイルの構築。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	環境出前学習について、昨年度よりも参加人数・実施回数ともに増加しており、内容も満足度の高いものを提供することができた。
R7年度	環境出前学習について、昨年度よりも参加人数・実施回数ともに増加しており、内容も満足度の高いものを提供することができた。 「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」はR7年度よりこれまでの紙媒体だけでなく児童のタブレットに対応したデジタル版も発行したが、参加者数は減少となった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	「ひらかたみんなのエコライフつうしんぼ」の参加者数を伸ばすべく、内容を低学年でも取り組みやすいものとし、これまで以上に各学校へ取り組みを呼びかけるとともに、各校留守家庭児童会室にも啓発を推進する。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　667

事務事業名称		環境基本計画推進事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境政策課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　1999(H11)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市環境基本条例						
	関係附属機関等	環境審議会						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	市民一人ひとりが環境に関心を持ち、自ら考え行動し、恵み豊かな環境を保全し、ゆとりと潤いのある快適な生活環境を創造していく状態。						
	対象者(受益者)	市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等(その効果は全市民に及ぶ)						
	現状・課題	環境保全に主体性を持って取り組めていない市民がいる(市民全体にとっては、地球温暖化の進行、自然環境の減少などが課題。)						
	事業の概要	・枚方市環境基本条例第7条の規定に基づき、環境の状況、環境の保全と創造に関する施策を総合的かつ計画的に進めるための計画として策定した環境基本計画の進行管理を行うため、施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。						
	年間の主な事務	・環境の現況と環境基本計画に基づく施策の実施状況等を掲載した「ひらかたの環境(環境白書)」を発行。 ・枚方市環境基本計画に基づく事業計画の実績の確認及び次年度の事業計画の確認(年に1回)						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.70人	1.12人	—	—
再任用	0.08人	0.10人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	16.00人	17.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	5,808	9,724	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	152	295	—	—		
歳出 人件費計	5,960	10,019	—	—		
歳出 物件費計	0	19	—	—	80	23.8%
歳出計	5,960	10,038	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	0	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	19	—	—	80	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 枚方市環境基本計画の事業計画に事業を位置づける「枚方市環境基本計画の事業計画に位置付けた事業数」	回 事業	57 回 事業	58 回 事業	— 回 事業	— 回 事業
② 「ひらかたの環境(環境白書)」の発行	回	1 回	1 回	— 回	— 回
③ 枚方市環境基本計画事業計画の実績の確認	回	1 回	1 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 事業計画に位置付けた事業の目標達成率の確認

指標: 事業計画に位置付けた事業の目標達成率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	90	90	90	90	%以上
実績	79	76	—	—	%
算出方法	目標達成事業数/環境基本計画事業計画に位置付けた事業数				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 事業の目標達成率の増加

指標: 事業計画に位置付けた事業の目標達成率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	90	90	90	90	%以上
実績	79	76	—	—	%
算出方法	目標達成事業数/環境基本計画事業計画に位置付けた事業数				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

市民一人ひとりが環境に関心を持ち、快適な生活環境を創造していく状態。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6 年度	令和6年度は、57事業のうち、45事業で目標を達成したが、11事業で目標を達成することができなかった。未達成の原因分析・解決に向けて次年度以降も取り組んでいく。
R7 年度	令和7年度は、58事業のうち、44事業で目標を達成したが、14事業で目標を達成することができなかった。未達成の原因分析・解決に向けて次年度以降も取り組んでいく。
R8 年度	
R9 年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度 取組方針	引き続き、環境基本計画の進行管理を行うため、施策の実施状況の把握・点検を行い、継続的に計画の推進を図る。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 (R5実績測定)	R7年度の方向性 (R6実績測定)	R8年度の方向性 (R7実績測定)	R9年度の方向性 (R8実績測定)	R10年度の方向性 (R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　668

事務事業名称			地球温暖化防止対策事業					
担当部署(R8年度機構)			部:　環境部	課:　環境政策課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画	基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち			細区分	選択的区分	
		施策目標	27.地球温暖化対策に取り組むまち			性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性		所信表明(R5年9月)	○	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度 / R9年度
						○	○	
	事業期間		事業開始：　2000(H12)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)					
	根拠法令等		地球温暖化対策の推進に関する法律、エネルギ―の使用の合理化に関する法律、大阪府気候変動対策の推進に関する条例、第3次枚方市環境基本計画、枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)					
	関係附属機関等		該当なし					
	関係補助金等		枚方市省エネ家電買い換え促進事業補助金 ひらかたゼロカ―ボン推進補助金			補助金性質:　その他補助		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態		温室効果ガスの排出にかかわるすべての市民・市民団体、事業者、行政がそれぞれ環境問題について考え、環境に配慮したライフスタイルへ転換し、令和32年(2050年)までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとなる状態。					
	対象者(受益者)		①温室効果ガスの排出にかかわるすべての市民・市民団体、事業者、行政 ②市職員及び市の環境保全施策に関わる市民、市民団体、事業者等					
	現状・課題		猛暑による被害や豪雨による災害などのリスクを低減するために、令和32年(2050年)までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要がある。					
	事業の概要		・「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)」に基づき、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施する。 ・「枚方市環境マネジメントシステム(H―EMS)」に基づき、環境に関連する施策・事業が適切に実施されているか等について確認を行い、本市の環境マネジメントシステムの取り組み状況を公表する。 ・地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき設置した「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて、事業者と行政が連携し、市域における地球温暖化対策を実施する。 ・年間を通して、様々な形式の環境イベント・キャンペーンを継続的に実施するとともに、サプリ村野の「環境情報コーナー」において、地球温暖化対策や省エネなどの環境に関する情報発信、啓発活動を実施する。 ・省エネルギーの普及・拡大事業として、公共施設に太陽光発電設備の設置し、公民連携で発電した電気を民間施設に供給するとともに、EV車の導入を推進する。 ・再エネや省エネ設備及び対象となる省エネ家電に買い換えを行った市民等に対して補助金を交付する。					
	年間の主な事務		・「第3次枚方市環境基本計画」、「枚方市地球温暖化対策実行計画(区域施策編・事務事業編)」等に基づき、環境に関連する施策・事業の目標を設定し、取り組み状況の進捗管理を定期的に行い、必要に応じて見直しを行う。(年1回以上) ・「枚方市環境マネジメントシステム(H―EMS)」に基づき、環境に関連する施策・事業が適切に実施されているか等について確認するため、内部環境監査を実施し、本市の環境マネジメントシステムの取り組み状況について「ひらかたの環境(環境白書)」やホームページ等を活用して公表。(年1回) ・啓発イベントの開催。(年4回程度) ・各種補助金の交付事務。(通年) ・計画的に市有施設のLED改修や公共施設の屋根等に太陽光発電設備を設置する。(通年)					

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	4.38人	5.95人	―	―
再任用	1.51人	0.20人	―	―
任期付職員	0.00人	0.00人	―	―
会計年度任用職員	0.27人	0.49人	―	―
特別職非常勤	0.00人	0.00人	―	―
附属機関委員	0.00人	0.00人	―	―

決算額			（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
	歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	41,717	49,904	—	—		
			会計年度任用職員	584	436	—	—		
			特別職非常勤	0	0	—	—		
			附属機関委員	0	0	—	—		
		人件費計		42,301	50,340	—	—		
		物件費計		92,793	399,760	—	—	325,475	122.8%
	歳出計			135,094	450,100	—	—		
	歳入	国庫支出金		47,504	183,302	—	—	106,678	
		府支出金		0	0	—	—	0	
		受益者負担（使用料・手数料）		0	0	—	—	0	
		市債		0	156,500	—	—	156,500	
		その他		28,574	41,195	—	—	43,418	
	歳入計（物件費に充当される特定財源）			76,078	380,997	—	—	306,596	
	一般財源（物件費充当分のみ）			16,715	18,763	—	—	18,879	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

	年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
①	計画等に基づき、環境に関連する施策・事業の目標を設定し、取り組み状況の進捗管理を定期的に行い、必要に応じて見直しを行う。	回	1 回	1 回	— 回	— 回
②	「枚方市環境マネジメントシステム（H－EMS）」に基づき、施策・事業が適切に実施されているか等について確認するため、内部環境監査を実施する。	回	1 回	1 回	— 回	— 回
③	市役所内各課のエコオフィスの取組状況やエネルギーの使用量削減の目標達成状況の評価の確認を行う。	回	4 回	4 回	— 回	— 回
④	「枚方市環境に配慮した物品の購入（グリーン購入）推進指針」に基づき、市役所のグリーン購入の状況確認。	回	1 回	1 回	— 回	— 回
⑤	計画的に市有施設のLED改修を行う。	施設	— 施設	7 施設	— 施設	— 施設
⑥	「枚方市地球温暖化対策協議会」を通じて行政と連携する事業者数	社	138 社	135 社	— 社	— 社
⑦	地球温暖化防止に係る各種イベント等を実施回数	回	4 回	3 回	— 回	— 回
⑧	枚方市省エネ家電買換え促進事業補助金の交付件数	件	— 件	2,929 件	— 件	— 件
⑨	ひらかたゼロカーボン推進補助金の交付件数	件	151 件	307 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

アウトプット（活動が産み出した結果）

ロジックモデル

アウトプット①

説明	省エネ性能に優れた家電への買換えが促進される
指標	枚方市省エネ家電買換え促進事業補助金の交付件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	2,900	—	—	件
実績	—	2,929	—	—	件
算出方法	枚方市省エネ家電買換え促進事業補助金の交付件数				

ロジックモデル

アウトプット②

説明	再エネ設備等の導入が促進される
指標	ひらかたゼロカーボン推進補助金の交付件数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	182	354	466	406	件
実績	151	307	—	—	件
算出方法	ひらかたゼロカ―ボン推進補助金の交付件数				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、家庭部門における温室効果ガス排出量が削減される
指標	家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	35.5	39.3	43.2	47	%
実績	27.8	30	—	—	%
算出方法	市域のエネルギ―使用量等から温室効果ガス排出量を算出する				

アウトカム②

説明	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される
指標	市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	25.4	28.1	30.8	33.5	%
実績	22.5	25.1	—	—	%
算出方法	市域のエネルギ―使用量等から温室効果ガス排出量を算出する				

ロジックモデル

アウトプット③						
説明	環境イベントにて環境意識の啓発に取り組む					
指標	環境イベントへの参加者数					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	1,700	1,700	1,700	1,700	人
	実績	2,377	1,939	0	0	人
	算出方法	イベント参加人数				

アウトカム③						
説明	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、家庭部門における温室効果ガス排出量が削減される					
指標	家庭部門における温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	35.5	39.3	43.2	47	%
	実績	27.8	30	—	—	%
	算出方法	市域のエネルギー使用量等から温室効果ガス排出量を算出する				

ロジックモデル

アウトプット④						
説明	枚方市地球温暖化対策協議会の活動を通して、市民・事業者の地球温暖化対策を推進する。					
指標	枚方市地球温暖化対策協議会活動事業者数					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	690	700	710	720	社
	実績	138	578	—	—	社
	算出方法	協会加入事業者数				

アウトカム④						
説明	市民、市民団体、事業者、行政の取り組みにより、市域の温室効果ガス排出量が削減される					
指標	市域から排出される温室効果ガス排出量の削減率（2013年度比）					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標	25.4	28.1	30.8	33.5	%
	実績	22.5	25.1	—	—	%
	算出方法	市域のエネルギー使用量等から温室効果ガス排出量を算出する				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

令和32年（2050年）までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	温室効果ガス排出量については、排出係数の関係により、目標を達成することができなかったものの、補助金交付やイベント開催など具体的な活動については、概ね目標を達成することができた。
R7年度	補助金交付やイベント開催などの具体的な活動については、予定どおり達成することができたが、温室効果ガス排出量については目標に近づいたものの達成することができなかった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	引き続き、「枚方市地球温暖化対策実行計画（区域施策編・事務事業編）」に基づき、市域の温室効果ガス排出量の削減に向けた取り組みを実施していく。	R8年度方向性	拡充

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	拡充	拡充	拡充	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　672

事務事業名称		まち美化啓発事業（環境政策課）						
担当部署（R8年度機構）		部：　環境部		課：　環境政策課		区分	任意的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	5.自然と共生し、美しい環境を守り育てるまち				細区分	任意的区分	
	総合計画 施策目標	28.美しく魅力あるまち並みが育まれるまち				性質	環境・衛生	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　1980(S55)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市ポイ捨てによるごみの散乱及び犬のふんの放置の防止に関する条例、枚方市路上喫煙の制限に関する条例、海岸漂着物処理推進法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	歩きたばこや吸い殻などのごみのポイ捨てなどがなく、清潔で美しいまちになる。						
	対象者（受益者）	市民						
	現状・課題	・衛生上・美観上、不快に感じる。 ・環境保全に主体的に取り組めていない市民がいる。						
	事業の概要	条例周知のための街頭啓発や、「犬のふん放置禁止」「ポイ捨て禁止」の啓発看板の配布等による啓発活動。また、市民・市民団体・事業者・行政が連携・協力して、「ポイ捨てをしない、させない環境づくり」を行う。						
	年間の主な事務	・広報等で、条例の規定の周知や、路上喫煙禁止区域の周知等の啓発を実施。 ・「犬のふん放置禁止」「ポイ捨て禁止」などの啓発看板を、希望する個人・自治会・事業者等へ配布。 ・クリーンリバー、アダプト団体との連携による清掃活動と啓発活動。						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	0.73人	0.76人	—	—
	再任用	0.16人	0.50人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,465	8,889	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	6,465	8,889	—	—		
歳出	物件費計	547	243	—	—	371	65.5%
歳出計		7,012	9,132	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		547	243	—	—	371	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 条例の規定や路上喫煙禁止区域の周知等を行うための啓発看板の作成枚数	枚	378 枚	368 枚	— 枚	— 枚
② 地域や市民団体等との連携によるクリーンリバー等を通した啓発活動実施回数	件	3 件	3 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

アウトプット(活動が産み出した結果)

ロジックモデル

アウトプット①

説明: 作成した看板を希望する市民等へ配布。

指標: 啓発看板の配布枚数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	360	360	360	360	枚
実績	378	368	—	—	枚

算出方法: 各年度で配布した啓発看板の配布枚数の合計

ロジックモデル

アウトプット②

説明: クリーンリバー等への参加により、市民意識の向上が図られる。

指標: クリーンリバー等の参加者数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	470	470	470	470	人
実績	478	500	—	—	人

算出方法: クリーンリバー参加者の合計

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: 歩きたばこに対する意識の向上

指標: 路上喫煙実態調査により算出された歩行喫煙率

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	0.09	0.08	0.07	0.06	%
実績	0.04	0.2	—	—	%

算出方法: 歩行喫煙者数/歩行者数×100

アウトカム②

説明: 大切な環境財産を守り、自然豊かな環境を維持するための清掃活動を行う。

指標: 河川の清掃活動により回収されたごみの量

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	605	595	585	575	kg
実績	680	901	—	—	kg

算出方法: クリーンリバーで回収されたごみの量の合計

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

河川の清掃活動により回収されたごみの量を令和10年までに570kgとする。
令和10年までに歩行喫煙率を0.05%とする。

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	クリーンリバー等の参加者数が目標を上回ったため、市民の意識向上が図られていると考えられる。 歩行喫煙率が低下したことから、啓発看板について一定効果があったものと判断できる。
R7年度	クリーンリバー等の参加者数が目標を上回ったため、市民の意識向上が図られていると考えられる。 歩行喫煙率が増加したが、樟葉駅での調査時に例年にない喫煙率増加により数値が上がってしまった。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度 取組方針	R7年度に樟葉駅での歩行喫煙率が増加したため、実態調査も含め現状把握し、看板設置などでの啓発に努める。	R8年度 方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性 （R5実績測定）	R7年度の方向性 （R6実績測定）	R8年度の方向性 （R7実績測定）	R9年度の方向性 （R8実績測定）	R10年度の方向性 （R9実績測定）
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　939

事務事業名称		環境政策課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　環境部		課:　環境政策課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	決裁、地方公営企業法、枚方市補助金等交付規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	・環境政策課及び環境部内の所管事務を適正かつ円滑で効率的に執行する						
	対象者(受益者)	課職員						
	現状・課題	課の運営を円滑に図る必要がある						
	事業の概要	部内及び課内の庶務、議会・組合等に対する調整及び交渉等、文書管理、物品管理、予算編成・決算管理等並びに給与・休暇等の事務処理及び行政財産及び基金の管理、水道事業会計へ補助金・負担金等を繰り出しを行う。						
	年間の主な事務	・庁内照会回答事務 ・予算・決算事務 ・環境基金の管理 ・水道事業会計への補助金(福祉減免分)や負担金(上水道の水源開発に要する経費(1／3相当額)・児童手当分) ・市議会関係事務 ・その他庶務関係事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.46人	1.57人	—	—
再任用	0.06人	0.20人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	19,232	13,948	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	19,232	13,948	—	—		
歳出 物件費計	416,754	600,442	—	—	1,068,288	56.2%
歳出計	435,986	614,390	—	—		
歳入 国庫支出金	0	312,484	—	—	346,419	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	2	0	—	—	1	
歳入 市債	260,000	122,800	—	—	585,969	
歳入 その他	43,472	40,780	—	—	43,754	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	303,474	476,064	—	—	976,143	
一般財源(物件費充当分のみ)	113,280	124,378	—	—	92,145	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	―					
指標	―					
		R6	R7	R8	R9	単位
	目標					―
	実績					―
	算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	環境政策課に係る庶務事務を適正かつ円滑に運営を行った。
R7年度	環境政策課に係る庶務事務を適正かつ円滑に運営を行った。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	R8年度も環境政策課に係る庶務事務を適正かつ円滑に運営を行う。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	―	―